

○特殊メイクについて

特殊メイクは分野が広く、特殊メイクだけで1分野を形成するが、メイク現場において、ビューティだけでなく、簡単なアグリーメイクを要求されることが多く、特殊メイク導入編として、最低限の知識と技術修得を目的とする。造形等を必要とするより高度なFXメイクは来年度に行う。

ステップ5：特殊メイク(傷、打撲、怪我、ゾンビメイク)

開催日：平成27年 1/10(土)、1/17(土)、1/18(日)、1/24(土)、1/25(日)



6

・理論面

- 1、怪我や傷、打撲などの分類と時系列変化
FXメイクの基礎である、切傷、擦り傷、はれ、打撲、痣などを演出するにあたり、それらの種類と時間経過による変化について学ぶ。
- 2、血糊の分類
- 3、材料の特性と選択
ワックス、ラテックス、ゼラチン、シリコーンゴムでの傷等の演出のための材料適性。怪我、傷等の状況により、撮影環境などにより、どの材料を使用するか等の材料選択のための材料特性の知識修得。
- 4、カラーリングや陰影を利用した効果演出の学習。

・技術面

- 1、ペイントでの痣や擦り傷(2次元)
ペイント(筆やスポンジ)での痣や傷の演習。
- 2、モデリング材料を使用した傷等(3次元)
ワックス、ラテックス、ゼラチン、シリコーン等のモデリング材料を使用した傷等の演習。基礎的な使い方から応用編までモデリング材を変更しながら修得。
- 3、ゾンビペイント
ペイント、エアブラシなどを駆使し、2次元および3次元の技法を組み合わせ、ゾンビメイクを演習する。
- 4、次回までの課題(提出物あり)
自宅練習。ペイントやモデリング材料を使用した作品提出(写真)。